# 主な流れ（参考時間15分間）

導入の（例）

学校に一人置くこととされている『情報化推進リーダー』は授業のＩＣＴ化についての役割も担うこととされています。

そこで本日はこのような会を設けさせていただきました。

今回は全体でイメージをなんとなく掴むこと，２回目は教科でより具体的な実践方法を考えていただくという，２回の研修とさせていただきます。ＩＣＴはあくまでも授業のねらいに迫るための１つのツールであり，必ず使わなければならないわけではありません。『使わない』のと『使えない』のとでは意味が違います。まずは，どんなことができるのか，指導の見直しのご参考にしていただけたらと思います。

研修のポイント

教科で授業力を強化しよう（第１回／全２回）

まずは学校にある機器でできることを知ろう！　　　　　　　　　　カメラ・パソコン・タブレット・デジタル教科書で何ができる？

１　導入【約2分】

・研修のねらいを説明する。（右記例参照）

２　ビデオの視聴【約10分】

・それでは，先生方お一人お一人に，ご自分の授業のどの場面でＩＣＴ機器を活用できそうか考えていただきます。

・イメージのヒントになればと，前の画面には宮城県で作成したMIYAGI Styleの紹介映像を流しますので，ご覧になりながらイメージを膨らませてください。

３　討議【約2分】

・ワークシートのチェック項目にチェックを入れ，できることを簡単におさらいしましょう。

４　まとめ【約1分】

・以上で，第１回のICT研修は終了となります。２回目は教科ごとの話し合いをお願いします。今日考えたタブレット端末の活用イメージを基に，授業で実践できることをお話し合いいただきます。

・話し合いまでに，次の２つのホームページをご覧いただければ話し合いが進むと思いますのでご覧ください。」「なお，本日ご覧の宮城県で作成したMIYAGI Styleの紹介映像はYouTubeに公開されていますので，都合の付くときに改めてご覧いただくこともできます。」

「今日の授業タブッciao！」（タブレット端末活用実践ポイント集）

「＋(プラス)タブレ」（タブレット端末活用実践動画集）

ワークシート

|  |
| --- |
| 氏名： |

（１）MIYAGI StyleのＩＣＴ活用ビデオを見て感じたことを書いてみよう。

|  |
| --- |
| ・・・・・・・ |

（２）現在，企業でもプレゼンテーションソフト離れが始まっている。ＩＣＴ活用の流れも，より簡単に考えてみよう。

□の中にチェックを入れよう

プロジェクターまたは大型テレビがある

　↓　　　　　　　　　↓

□ＹＥＳ　　　　　　□　ＮＯ

　↓

□カメラがある　　□パソコンがある　　□タブレットがある　　□デジタル教科書がある

作ったプリントが

大きく映せる

三脚を使うと教材提示装置を大きく映せる

カメラで撮らなくても

教科書を持たずに教室へ

何かの機能が付いている？！

その場で撮った

写真も

大きく映せる

机間巡視しながら

黒板に書ける

生徒のノートも

大きく映せる

拡大装置と同じ

作ったプリントが

大きく映せる

＊MIYAGI Styleの紹介映像はYouTubeに公開されていますので，都合の付くときに改めてご覧いただけます。

＊授業活用で参考となるサイト

①「今日の授業タブッciao！」（タブレット端末活用実践ポイント集）

②「＋(プラス)タブレ」（タブレット端末活用実践動画集）